

## 人・文化・地域の交流

京都府立京都高等技術専門校の竹村伸彦先生からバトンを受け取りました鳥取県の下田です。竹村先生とは能開大の同期で、共に学生寮で4年間をすごしました。軟式野球部での週1回の練習と、相模原リーグ・大学のリーグで車や電車で試合に行っていたのを思い出します。竹村先生は元高校球児だけあって、やはりウマかったですね。独特の関西弁で相手チームだけでなく味方もヤジっていたような……今は京都弁が混じって上品になっていることだと思いますが……？

さて、私の住んでいる米子市は、鳥取県の西部に位置し、松葉ガニとゲゲゲの鬼太郎で有名な境港市に隣接しています。南側に大山（だいせん）、北側は日本海に面し、釣り・スノボ・海水浴・温泉など1年中レジャーを楽しめる、自然豊かな街です。

米子に住みはじめて6年半経ちましたが、当初は何もわからない土地に1人で住むという不安もありました。しかし、すべてが出会いばかりのスタートで楽しみな部分のほうが大きく、いろいろなイベントに積極的な参加を心がけてきました。

米子市では夏になると『がいな祭』という祭りがあり『がいな万灯』というパレードに県職員チームとして参加させてもらっています。

『がいな』というのは米子の方言で『大きな』という意味です。万灯は竹の骨組みに提灯を吊したもので、これを片手で持ち上げたり、肩、額に乗せたり、さまざまなバリエーションで演技をし、美しさを競うというパレードです。夜の大通りを何十もの提灯が連なっている景色は圧巻です。見るほうは楽なものですが、高さ8m・重さ約40kgもの万灯を持ち上げるのはとても大変で、



重いのはもちろんのこと、バランスをとるのに練習が欠かせません。祭りの2ヵ月ほど前から練習をして本番に臨むわけですが、仕事が終わってからの練習なので、帰る頃には疲れきっています。でも、その苦労があるから本番で万灯をあげたときの達成感は大きく、また来年も頑張ろうという気持ちになります。練習や祭りを通して、いろいろな職場の人と交流ができることはとても大きな収穫になっていると思います。毎年8月上旬に開催されますので、ぜひ米子に足を運んでください。

次は、徳島県立鳴門テクノスクールの光延先生です。光延先生とは能開大で同じ研究室でした。なかなか会える機会がないのですが、光延先生の実家が岡山ということで何度か家のほうに遊びに行かせていただきました。また機会があればおじゃまします。忙しい時期だと思いますが、次回のリレートークをお願いしたところ、快く引き受けていただきました。それではよろしく申し上げます。